

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月16日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次 3日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	飯南町	代表者名	町長 塚原隆昭		
担当者部署	まちづくり推進課	連絡先電話番号	0854-76-2864		
担当者役職	主幹	担当者氏名	安部亜裕子	連絡先E-mail	
住所	690-3513 島根県飯南町下赤名880				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	住民によるブランドメッセージの展開、活用方法、ICTを活用した発信方法について研修会（講義・ワークショップ）を実施していただいた。参加者がイラストや付箋を使ってアイデア出しをしやすいようにコーディネートいただき、和やかな雰囲気のもと研修会を進めることができた。また、参加者の意見を今後も引き続き町としての展開できるような仕掛けも考案いただき、単発の研修会ではなく、その後の地域活動に連続性をもたせることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年9月12日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	12時00分	
				活動時間（分）	180
3-2. 派遣場所	会場名	飯南町来島交流センター	最寄駅	松江駅	
	所在地	島根県飯石郡飯南町野萱300-1	最寄駅からの交通手段	公用車での送迎	

#### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可  掲載可

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	住民参加者、商工会員、集落支援員、地域おこし協力隊等	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	新たにブランドメッセージを決定したが、住民が積極的に活用・発信していかなければ意味がないものになってしまう。そのため、活用や発信方法等について住民とともにどうやって活用していくのかアイデア出しを行い、まちの魅力の主体的な活用・ICTを活用しての発信を促進したい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修会の参加者が自ら情報発信を行うとともに、ブランドメッセージを活用した新たな取り組みが生まれることを目標とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・ブランドメッセージ、ICTを活用したシティブロモーション事例等を講義 ・参加者がそれぞれに活用方法を考えだす際のワークショップファシリテーション ・「何をまちの魅力ととらえるか」「自分は何ができるか、したいか」という問いに対して参加者がそれぞれの答えを導き出す支援を行ってもらった。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT (SNSなど) を活用しての発信は住民も手軽にできる情報発信だということ、主体的に発信する人が増えることがまちのプロモーションにつながることを町民にわかりやすく講演いただいた。</li> <li>行政主導ではなく、住民主導の取り組みを大切としたいことを講義いただいた。研修会終了後、参加者から住民有志で町の情報発信をしたいという相談があり、アドバイザーと個別相談を行った。その後、「飯南町を応援する会」を住民自らで立ち上げ、今後ICTを活用した情報発信や住民主体の地域イベントなどに取り組むこととなった。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	参加者が「〇〇によって地域に関わりたい」という意見出しと、それに伴うブランドメッセージロゴマークの展開案が作成された。今後それらを使ってどう制作物やICT発信につなげるかという具体的な行動までには移せておらず、参加者の個別フォローが必要である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ワークショップが中心の研修会であり、アドバイザー・行政とも気軽に意見交換ができる場であったためアンケートは実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランドメッセージをもとにしたシティプロモーション事業におけるICT活用とそれによる住民参画の増加。</li> <li>ICTを活用して住民自身がまちの魅力を発信するしくみづくり。</li> </ul>	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
 なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



